

# 2018年7月22日 主日礼拝 <洗礼式>

司 会 ①村上洋兄 ②塩野兄 ③島田兄

奏 楽

祈 禱 ①川村師 ②久保田兄 ③鷺澤兄

賛 美 聖歌213番(献堂式)「うれし 祈りはきかれぬ」  
(主はすばらしい!)(目をあげよ)

使徒信条

聖 書 ① マタイによる福音書13章1～9節(P20)  
② ルカによる福音書19章1～10節 (P121)  
③ 使徒行伝20章21～27節 (P217)

音 楽 ① 北島美佐子姉(伴奏:白鳥直美姉)  
②③サインダンス

証 詞 ①②加藤郁正兄(アブラハム会)

メッセージ ① 「実を結ぶ人生」 小林詩音伝道師  
② 「喜びのシェア」 佐々木智行伝道師  
③ 「この命は、惜しくはない」 大川従道牧師

賛 美 「カルバリ山の十字架」(399番・献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「しかし、わたしは自分の行程を走り終え、主イエスから賜わった、神のめぐみの福音をあかす任務を果し得さえしたら、このいのちは自分にとって、少しも惜しいとは思わない。」

(使徒二十の二十四)

## 【大和ニュース】

☆受洗おめでとうございます! ①佐藤兄(バルナバ会)

・本日「洗礼準備会」、手話、アブラハム会、J.Plus(中学・高校・学生・青年)等あり。

☆本日午後5時から、「東京カルバリーチャペル」の「献堂式礼拝」が行われます。

多くの献げものとお祈りを心から感謝しております。講師は村上宣道先生。

独唱は西田姉(田中姉)、賛美リードは倉知師。司式は大川牧師。

(4時から3階ホールで準備祈禱会がなされます)。バス案内図等、受付にあります。

\* 今週の祈禱会には、モンゴルの宣教師が来られます。(祈りは力です!)

①水曜夜②木曜朝は吉田隆先生ご夫妻。 ③金曜夜は石橋伝道師。

\* 『横浜国際ゴスペルフェスティバル』は28日(土)午後3時～。申し込み受付中。

## 石の枕

東京カルバリーは、本日「献堂式」を行う。長い間ご支援くださって、心から感謝しております。天よりの祝福をあふれるほど受けて下さい。献堂に際し「記念誌」を発行するのですが、恵みあふれた数名の方は、こちらでご紹介します。

埼玉県生まれの私が、小学3年生になった頃見た光景は今でも忘れられません。戦争末期、東京の空は、毎夜、米軍による大空襲で、火炎を噴き上げて真っ赤に燃え上がり、私たちはその光景を遠くから、複雑な気持で見つめたものでした。火炎に照らされた米軍機が悠々と上空を飛行し、雨あられと焼夷弾を落とし続ける光景も、はっきりと見る事が出来ました。それは、子ども心にも、まことに恐ろしい光景でした。翌朝になると、空が暗くなる程に、東京火災の燃えススが、遠く離れた私たちの所にまで落ちて来るのでした。「ああ、戦争に負ける」、それが小さな私の胸に浮かんだ実感でした。

成人して、その東京でテレビ・ディレクターとして働き出した私は、まさに仕事人間、昼も夜もなく、信仰もなく、唯々懸命に働きました。東京は復興し、高層ビルが大空に向かって聳え立っていきました。そんな中で、人々の間に、“経済大国”という言葉が、誇らしげに語られ始めました。しかし、一方で、日本人の魂の不毛は進んで行きました。

ある時、私は家内とある高層ビルのレストランで食事をしました。眼下には、東京のビルが墓石のように一面に立ち並んでいました。私たちは、思わず叫びました。“ああ、東京はまるで墓場だ！”と。

この度、大川先生がいよいよ本格的に東京伝道を開始されます。どうぞ、私たちが見た墓場の如き不信仰の東京ではなく、リバイバルの炎に包まれた天国の如き霊的東京へと導いてくださいますように！ また、私が少年時代に見た、あの空襲による真っ赤な東京の空ではなく、日本中を照らすリバイバルの炎燃え上がる東京の空をお見せください！そして、どうぞ、日本中の人々が、一人残らず、新しい聖霊の風溢れる東京で主イエス様に従っていくことが出来ますよう、お導きください。ハレルヤ！！

\*武井先生、すばらしい激励文をガッチリ受けとめました。涙を流しながらも、聖霊様、この通りにして下さい！と叫びました。大感謝です。(諸々の都合により記念誌に載せられなかったことをお許しください)。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！  
Aコース:使徒行伝23章～27章 Bコース:詩篇36篇～55篇